

自ら学び 自ら鍛える

Team 北中

令和4年度 学校報 第5号 令和4年7月20日

発行責任者：瑞浪北中学校校長 岩島 哲也

担当者：瑞浪北中学校教頭 清水 芳樹

<合言葉> プロGRESSIVE瑞浪北中学校
—主体性をいろいろな場面で発揮する年—

『プロジェクト f 3』

昨年度の学校報の中に『中学生からアプローチする地域貢献』と題され、7月2日と7月20日の2回に渡って発行された記事を見つけました。その中心として位置付けられた『プロジェクト f』実施の経緯と目的、価値について安藤前校長が述べられています。(以下がその抜粋です。)

(前略) 要請に応える形の地域貢献もコロナでできなくなった令和二年度、地域の行事や催しのほとんどが中止となり、地域と中学校の関係が見出せなくなりました。その矢先の出来事でした、大湫町の大杉が倒壊したのは。

大杉は自らの尊い姿をもって、瑞浪北中の生徒に地域貢献の方向性を示してくれました。私が生徒会執行部に投げかけた「大杉が倒れたことで、北中校区の多くの方がショックを受けているよ」という言葉に、彼らは鋭く反応し、「大杉再生支援」が地域貢献の新しい形となりました。大杉写真展、マスコミの取材依頼、二度設けた寄付贈呈式などを通して、生徒たちは「中学生からアプローチする地域貢献」に取り組みました。私は、今年度の「目指す学校」を「地域と結びつく学校」としました。令和二年度までの「地域に開かれた学校」からの転換です。北中生から地域にアプローチしてつながっていく学校づくりを目指しました。「大杉再生支援」を卒業生から受け継いだ今年度の生徒たちは、早速地域と結びつくことと頑張り始めました。それが現在取り組んでいる「プロジェクト“f”」という取り組みです。(“f”はflowerのことです。)

今年度はアルミ缶回収の収益金で、地域に鉢植えの花をプレゼントしようと生徒たちは動いています。「地域のために自分たちにできることは何か」を生徒たちが考えて出した答えです。私はそのことに大きな意味があると思っています。要請があって動くのではありません。ヒントを与えられて動くのではありません。自分たちで判断し、自分たちで考えて、自分たちで動こうとしているのです。これこそ、瑞浪北中が「特長」と位置付けている「主体性」です。開校三年目にして生徒たちがそのような姿に成長してくれたことは、私にとっても大きな感動となりました。小さな小さな花ですが、生徒たちにとって大きな大きな意味をもつ花です。地域と積極的に関わることによって地域の人々の思いに触れ、地域を見つめ直すきっかけになることでしょう。地域に住んでいても、地域から距離をおいて見ていれば、地域のよさや魅力はいつになっても知ることはできません。地域との距離を自分から詰めなければ、それらはわからないものです。(後略)

この経緯・目的は、今も、そしてこれからも決して忘れてはいけないことです。瑞浪北中の原点の1つと言える動きであるからです。地域からのボランティア要請に応えることもとても大切なことです。求められている、頼りにされているという現われであり、それに応えることで、地域の方との関係を築き、密にすること、地域の一員としての自覚をもつことにもつながるからです。ただ、安藤前校長は、ボランティア要請に応えること、地域行事に積極的に参加することを『受け身の地域貢献』と表現されました。地域からの要請・依頼がなかったら、地域との関わりは生み出せないという意味です。正しくその通りだと思います。だから、学校報の表題が『中学生からアプローチする地域貢献』になっているのです。『プロジェクト f 2』まで積み上げられた伝統。その伝統を確かに引き継ぎ、「地域を明るくするために」という新たな目標を加え、『プロジェクト f 3』を実施しました。

「今、地域との関わりがもてることの素晴らしさを実感した。」「直接手渡ししたら喜んでもらえて、とても嬉しかった。」といった生徒の思いの一方、地域の方々からも感謝のお言葉をいっぱい頂きました。中学生から発信(アプローチ)したことによって生み出された地域との繋がり具体です。何より、見るだけで心が和む、癒される、花を贈るといった発想が素晴らしいと思います。後期、新たな活動として、生徒会が中心となり、地域に向けた情報発信を行っていくことを考えています。新聞、HP等、どんな方法で行っていくのかはまだ具体的になっていませんが、どんな形になるのか、今から楽しみにしています。



愛を込めて花束を…
それぞれの場所で、
とても喜ばれました

夏休み中の感染予防対策について

瑞浪市教育委員会からも別紙で文書が出されておりますが、この夏休みも、感染予防へのご協力をお願いいたします。

特に、以下の点につきまして、重ねてお願いいたします。

- ①新型コロナウイルスに感染した場合の初期症状は、のどの痛みや軽い咳など、いわゆる風邪ととても良く似たものです。いつもと違う様子でしたら、無理をせずに体調を観察していただき、症状が進行するようでしたら医療機関での受診をお願いします。
- ②生徒本人や同居のご家族が PCR 検査等を受検される場合は、すぐに学校までお知らせください。最近は短時間で検査できる機器が設置されて医療機関も増えており、受診の流れの中でつい連絡が後回しになることも考えられます。受検の際は、お忘れなくお知らせください。

※平日昼間は、学校まで直接お電話ください。 **68-4191**

平日夜間や休日、学校閉庁日（8月8日～12日）につきましては、学校携帯におかけください。

080-1550-1309

学校携帯におかけの場合、状況によってすぐに電話に出られない場合がございますが、着信が残りますので、必ずお電話いたします。ご理解ご協力をお願いいたします。